

新除草・調節剤

M O - 3 3 8 乳剤

(取扱メーカー) M O 普 及 会
(三井化学工業株式会社)

対象作物：カンラン・ニンジン・ゴボウ

性状・作用特性：三井化学工業で研究開発したジフエニルエーテル系の除草剤で、N I Pに類似した作用特性をもつ接触型土壌処理剤である。雑草に対する作用性は強い接触害と同時に若干の莖葉吸収による殺草作用を示すがこの作用は植物体が大きくなると急速に低下する。したがって発芽時や発芽直後の雑草に対しては強い殺草作用を発揮するが生育の進んだ植物にはほとんど作用を示さない。土壌中での移行性はきわめて低い。殺草力はイネ科雑草には高いがハコベやノミノフスマなどのナデシコ科雑草には劣る。

有効成分の2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテルを20%含有する乳剤である。原体は水にきわめて難溶であり、毒性はラット急性経口毒性LD₅₀=10.800mg/kg以上/kg、コイ48時間TLM=290ppmときわめて低い。

使用方法：カンランでは定植後にうね・株間の土壌処理、ニンジン・ゴボウでは定植後の全面土壌処理とする。使用量は10アール当たり1,250cc～1,500ccの薬剤を水100ℓにうすめて散布する。カンランに多少かかっても薬害はない。

使用上の注意としてはあまり土壌が乾燥していると除草効果が低いのでいったんかん水した後に散布する。ハコベなどのナデシコ科雑草に

対しては除草効果が劣るので使用する畑の雑草の種類には注意する。

S L H - 1 4 乳剤

(取扱メーカー) 塩野義製薬株式会社

対象作物：レタス

性状・作用特性：有効成分のN-ブチル-N-エチル- α,α,α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-P-トリイジンを18%含有する黄橙色の乳剤で、トリフルラリンに類似した吸収移行型の土壌処理型除草剤である。除草効果はイネ科・アカザ科・ヒユ科・ナデシコ科・タデ科植物には高く、アブラナ科・キク科・ツユクサ科には劣る。全般的にトリフルラリンより除草効果は劣るが安全性はより高い。土壌中での移行性は小さく、残効性は長い。トリフルラリンと同様に散布直後に土壌混和することによって除草効果の持続性を高めることができる。莖葉処理の効果はない。アメリカではマメ類・芝類・レタスで使用されている。

原体は黄橙色の結晶で、水に対する溶解度は25℃で70ppm、蒸気圧は25℃で 4×10^{-7} mmHg、紫外線によって分解され易い。毒性はラット急性経口毒LD₅₀=10g/kgで小さい。

使用方法：露地栽培で定植後に10アール当たり1,000～1,500ccを水100ℓにうすめて株間に散布する。多少作物にかかっても薬害はない。土壌混和処理やトンネル、ハウス内での使用については今後の試験をまたなければならないが実用性は有望である。

使用上の注意としてはあまり土壌が乾燥して